

自治・文化・経済部会資料

施策4-1-1
アジアを中心とした海外での事業展開支援の強化

経済労働局
令和6年5月

資料をご覧ください。上での注意事項

掲載している数値等は、5月31日（令和6年度川崎市政策評価審査委員会第3部会の開催日）時点のものであり、今後、修正・変更になる可能性があります。

施策の概要

基本政策（1層） 活力と魅力あふれる力強い都市づくり

政策（2層） 川崎の発展を支える産業の振興

施策（3層） **アジアを中心とした海外での事業展開支援の強化**

直接目標 海外展開する市内企業を支援し、海外で活躍する企業を増やす

主な事務事業

海外展開支援事業

グリーンイノベーション推進事業

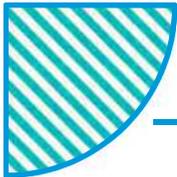
上下水道分野における国際展開推進事業

実施計画に位置付けた成果指標

概要 背景 取組 成果 まとめ

成果指標①		市が支援したビジネスマッチングの年間成立件数			
算出方法	市の支援策を活用した企業にヒアリングやアンケートを実施				
指標の考え方	市内企業の海外での販路開拓をめざし、本市は海外ビジネス支援センターや海外で開催される展示会への参加等を通じた支援を行っている。また、企業等のビジネスマッチングの機会を創出することをめざして、川崎国際環境技術展を開催している。それぞれの商談成立件数の把握により、取組の成果を測ることができる。				
指標の目標値	第1期策定時 581 件(H26)	第1期目標 630 件以上(H29)	第2期目標 800 件以上(R3)	第3期目標 800 件以上(R7)	
目標値の考え方	本市の海外展開支援施策(海外への展示会出展、国際環境技術展の開催等)の充実による更なるビジネスマッチング機会の創出により、市内企業等の国内外でのビジネスマッチング件数を10年で100件以上を増加させることを目標とする。 【第2期実施計画策定時】※H28(2016)の実績値が第3期の目標値を上回ったため、目標値を変更 ・第2期:660→800件 ・第3期:700→800件				
成果指標②		グリーンイノベーションクラスターのプロジェクトの年間件数			
算出方法	各年度における稼働中のプロジェクトの件数				
指標の考え方	グリーンイノベーションの推進に向けて、クラスター会員企業等とのマッチングによる新規事業の創出をめざしていることから、クラスターを通じて形成されたプロジェクト件数により事業の成果を測ることができる。				
指標の目標値	第1期策定時 2 件(H27)	第1期目標 5 件以上(H29)	第2期目標 7 件以上(R3)	第3期目標 10 件以上(R7)	
目標値の考え方	環境ビジネスによる産業活性化に向けて、H27(2015)に立ち上げたグリーンイノベーションクラスターに参画する企業等の連携による新規プロジェクトの創出件数を着実に増加させ、10年後のR7(2025)に年間10件のプロジェクトが稼働していることを目標とする。				





実施計画に位置付けた成果指標

概要 背景 取組 成果 まとめ

成果指標③		上下水道分野の国際展開活動件数			
算出方法	上下水道分野の「官民連携による国際展開」及び「技術協力による国際貢献」に関連した活動件数を算出				
指標の考え方	上下水道分野の国際展開は、本施策の直接目標「海外で活躍する企業を増やす」の一助となる活動であることから、活動件数を把握することにより、取組の成果を測ることができる。				
指標の目標値	第3期策定時 92件(R2) ※第3期実施計画から 新たに設定	第1期目標 -	第2期目標 -	第3期目標 100件以上(R7)	
目標値の考え方	かわさき水ビジネスネットワーク会員の海外での水ビジネス実現に向けて、調査事業への協力、セミナーの開催、国際展示会への出展等による情報発信や、技術協力を通じた活動を継続的に年間100件程度実施することを目標とする。				



海外での事業展開支援の強化①

概要 背景 取組 成果 まとめ

■ 海外展開支援事業について

- 縮小する国内市場に直面する市内企業が活路を見出すための一策として、海外事業展開を強化していく必要があったことから、市内企業のグローバル展開を促進し、市内産業の活性化を図ることを目的として、平成20年代半ばより海外での事業展開の支援を実施してきました。
- 中小企業においては海外事業展開にあたっての必要なノウハウを十分に持ち合わせていないことから、国内外の社会環境の変化を的確にとらえ、市内企業のニーズに対応した支援の実施が求められています。
- 市が支援したビジネスマッチング件数については、海外商談会や海外ビジネスマッチング、国内商談会等の取組を実施したことにより、第1期策定時（平成26年度）の実績値581件が、平成28年度には840件となり、第3期の目標値としていた700件を上回る結果となりました。そのため、第2期策定時には、目標値を800件に変更し、さらなる市内産業の活性化を図ってきました。



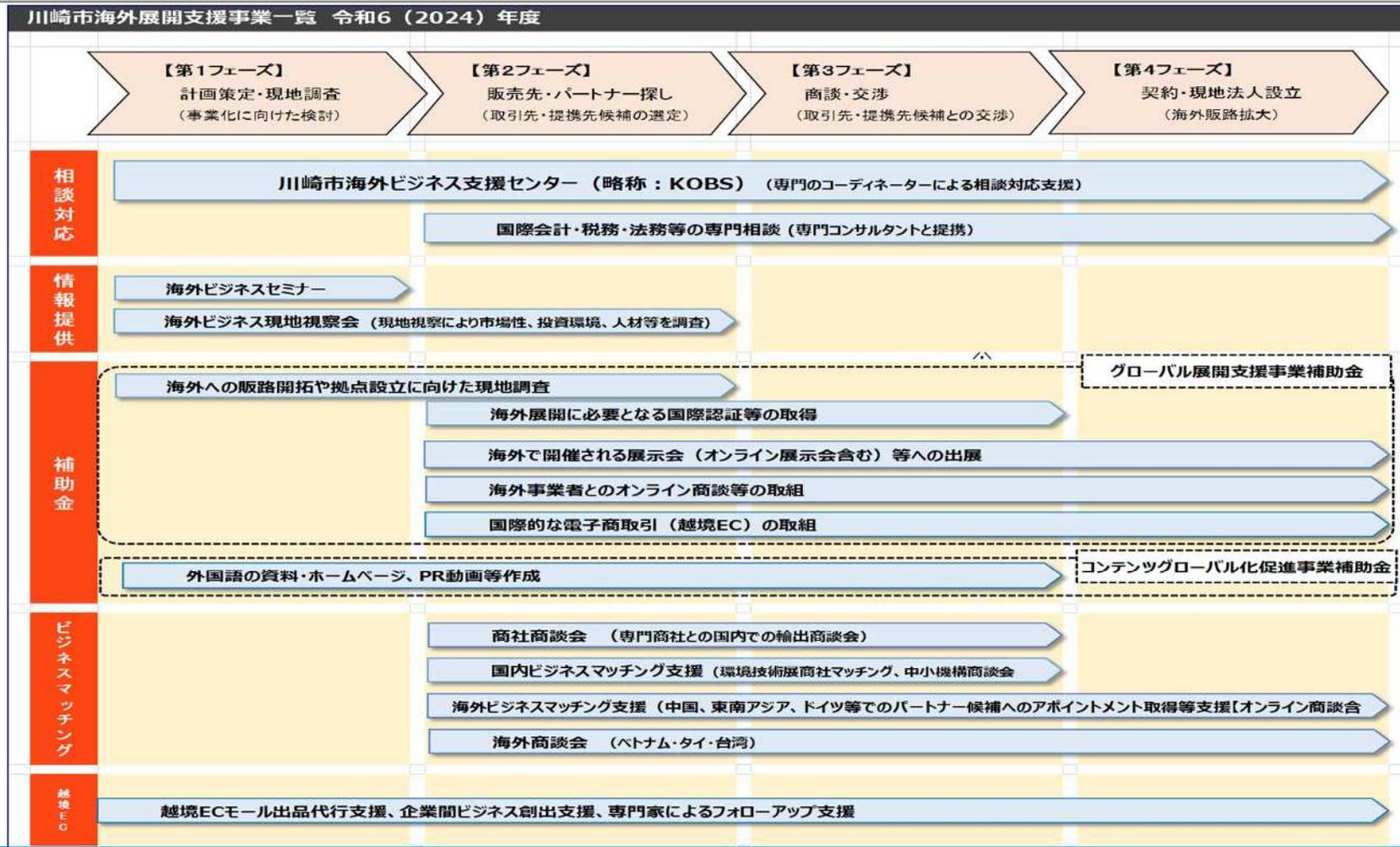
台湾企業との国内商談会



海外商談会（ベトナム）

海外での事業展開支援の強化②

■ 企業の海外展開の進捗段階を、4つのフェーズ（段階）に分けて整理。フェーズごとに、各企業のニーズに合わせた複数の支援メニューを持つことで企業の海外展開の進捗段階に合わせた取組を行えるように支援していきます。



グリーンイノベーションの推進

概要 背景 取組 成果 まとめ

■ グリーンイノベーションの推進について

- 市内産業の競争力強化と脱炭素化の両立に向けて、市内企業の新たな技術やシステムの社会実装によるイノベーションの創出が求められていることから、本市では、川崎の強みと特徴である環境技術・環境産業を活かしたサステナブル・シティの創造を目指して、環境技術・産業を活かした取組を一層発展・拡大させたグリーンイノベーションを推進しています。
- これまでは、川崎国際環境技術展を通じたビジネスマッチングを行う場の提供や、市内企業や関係団体等で構成されるグリーンイノベーションクラスターによるプロジェクト等の実施により、市内企業の環境関連ビジネスの展開を支援してきました。結果、第2期実施期間終了時に609件の環境関連ビジネス創出支援イベント等におけるビジネスマッチングと、8件のグリーンイノベーションクラスタープロジェクトを創出することができました。
- 成果指標である環境関連ビジネス創出支援イベント等におけるビジネスマッチングの年間成立件数は、コロナ禍において川崎国際環境技術展をオンラインで実施するなど、各種取組により推進しましたが、令和2年度、令和3年度は未達成となったため、第3期実施期間においてはビジネスを創出するためのコンテンツを充実させることが課題となっています。



川崎国際環境技術展展示会場の様子



グリーンイノベーションクラスター(※)の全体像

(※)川崎市と会員企業が協働し、それぞれが持つ環境技術・ノウハウを活用しながら社会経済環境の変化への適応と持続的な地域経済の構築を目指すネットワーク

上下水道分野における国際展開推進事業の構成

■ 世界の水環境は、人口増加、経済発展等により、水資源の不足や水質汚濁などの問題を抱えており、汚染された水や不衛生な生活環境に苦しむ地域や水系伝染病の蔓延が原因で多くの子供の命が失われている地域もあります。こうした状況を改善することは国際社会の共通課題となっており、本市においても世界の水環境改善にむけて貢献していくことが求められています。

- SDGsのGOAL6「安全な水とトイレを世界中に」を達成するために、「すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する」ことが掲げられています。
- 平成25年3月に厚生労働省が新水道ビジョン、平成26年7月に国土交通省が下水道ビジョンを策定し、上下水道分野における国際展開を重点的な実施方策の一つとして提示しています。

川崎市上下水道ビジョン：【国際展開における基本目標】 世界の水環境改善への貢献

官民連携による国際展開

- **かわさき水ビジネスネットワークを通じた海外展開支援の推進**

かわさき水ビジネスネットワーク会員に対する調査事業等への支援や情報提供・情報発信を推進

かわさき水ビジネスネットワーク

民間企業と川崎市が参画し、関係省庁・団体の協力を得ながら水ビジネスを推進するプラットフォーム（2012年設立）



連携

技術協力による国際貢献

- **川崎の上下水道技術の世界への発信**
開発途上国等への貢献に向けて職員の海外派遣や海外からの研修生・視察者の受け入れを推進



職員派遣



研修生受け入れ

海外展開支援事業における取組例①

概要 / 背景 / **取組** / 成果 / まとめ

- 海外展開支援事業では、コロナ禍の期間においてオンラインの活用による支援の充実を図り、ECの活用やオンライン商談の取組を推進しました。
- また、国際経済環境の変化に対応し、市内企業のニーズが高い国や日本に対して購買力の高い国に対して、海外現地における支援活動を展開しました。

■ 海外販路開拓に向けた展示会・商談機会での支援

令和5年度実績：102件（令和4年度実績：127件）

タイ・ベトナム・台湾の現地企業とのオンライン・現地渡航によるマッチングや輸出商社等とのマッチングを実施し、市内企業の海外展開を支援しました。



タイ・バンコク商談会

■ K O B S の海外支援コーディネーター等による企業支援

令和5年度実績：436件（令和4年度実績：492件）

KOBSコーディネーター3名体制による相談・伴走対応により、海外展開を希望する市内企業の活動を支援しました。



海外展開支援コーディネーター

■ 海外展開に関するビジネスセミナーの開催

令和5年度実績：36名参加（令和4年度実績：33名参加）

海外展開に取り組む企業同士の交流会を開催するとともに、海外現地でビジネス展開をしている市内企業による講演セミナー等を開催し、市内中小企業の海外展開に役立つネットワーキングの機会を創出しました。



市内海外展開企業交流会

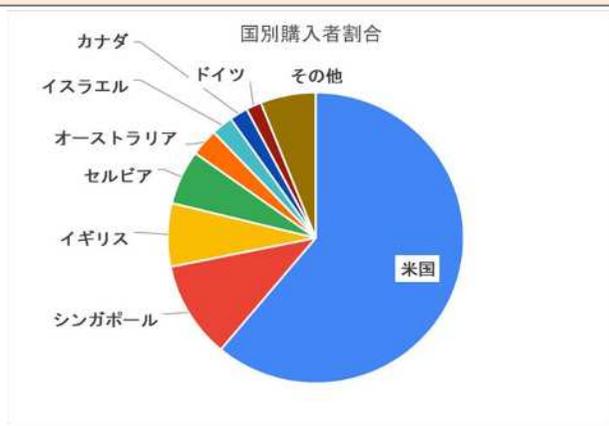
海外展開支援事業における取組例②

- 市内中小企業の販路拡大に有効な手段として、世界の主要モールに接続した越境ECサイト「Kawasaki City Store」を開設し、越境ECの活用支援を実施しました。
- 越境ECに新たに挑戦する企業を含め、海外現地でのショールームストア開催等も活用し、幅広い国・地域での販路開拓を支援しました。

■越境EC等促進事業による海外展開支援

令和4年度～5年度実績

- ・ 出品期間：令和4年12月から令和6年2月末までの約15か月間
- ・ 出品企業：**43社**
- ・ 品目：金属加工品、工芸品、食品、服飾品等
- ・ 受注実績：**19か国、117商品**



米・ロサンゼルスショールームストア



シンガポール・JR Café ワークショップ

グリーンイノベーション推進事業における取組例①

■ 川崎国際環境技術展の取組

- 総合計画第2期実施期間の後期（令和2年度～令和3年度）は新型コロナウイルス感染症の影響に伴いオンラインで展示会を実施してきましたが、**第3期実施期間（令和4年度～）から対面での展示会を再開**し、海外の関係者も積極的に招聘することで、出展者等の海外展開を支援しています。
- 特に、第16回（令和5年度）の展示会では、**ビジネスを目的とする出展者・来場者に参加対象を明確化**し、目的に沿った会場やコンテンツを提供することで、本展示会の成果指標であるビジネスマッチング数等の増加につなげています

第16回川崎国際環境技術展（令和5年度）での取組例

■ ビジネスマッチングを創出するためのコンテンツの提供

第15回で実施したマッチングブースの継続に加え、会期前や、会期中に様々な形での交流ができるコンテンツを新たに企画、実施しました。



綿密な商談等の意見交換ができるマッチングブース



会期前に出展者と来場者の交流ができるマッチングシステム



会場内での来場者向けプレゼンテーション



出展者同士（一部ゲストを含む）による会期中の大規模交流会

第16回（令和5年度）の新規取組

開催内容をビジネスマッチングの創出に重視した形に変更することで、ビジネスマッチング数、出展者数、来場者数のいずれも前回の実績を上回りました。

項目	第16回	第15回	増減
ビジネスマッチング数	774件	653件	+121件
出展者数	124団体	114団体	+10団体
来場者数	4600人	4150人	+450人

グリーンイノベーション推進事業における取組例②

概要 / 背景 / **取組** / 成果 / まとめ

■ グリーンイノベーションクラスターの運営を通じて、次の2つの支援を行っています。

- ① クラスター会員同士によるビジネスを創出するための交流会や川崎国際環境技術展等を通じたマッチング支援【協業支援】
 - ② クラスター会員個社の事業や生産活動に新しい付加価値を加えるためのアドバイスや、販路開拓に向けた伴走支援【個社支援】
- 市内中小企業を含む会員の参画による、**国内外における環境改善に資する技術やサービスの開発、改良、ビジネスモデルの検証等を行う事業をプロジェクトと位置付け**、事業化に向けた支援を行っています。

協業支援の取組例

■ 会員交流会の開催

会員企業同士に限らず、**外部の大手企業も参加し、広域的なオープンイノベーションの創出を支援**
(令和5年度実績：2回開催、延べ53名参加)
→19件の事業化に向けたマッチングを創出



■ 会員企業の海外展開支援

環境省「脱炭素社会実現のための都市間連携事業」を受託し、川崎市・会員企業・協力団体等の連携で川崎発の海外展開事業を創出



個社支援の取組例

■ 製品・サービスの広報支援

媒体との連携やセミナーの開催等を通じて、会員企業が開発した製品・サービスをPRする機会を提供



■ 個社の要望に応じた個別マッチング

当日のマッチングに限らず、協業成立後の補助金の獲得や、事業化に向けたアドバイスも実施



プロジェクト事例①(協業支援)

低コストで容易に操作可能な水素発生装置の開発



- ① 会員交流会で水素装置の開発を行う企業と、ソフトウェア開発を行う企業のマッチングを実施
- ② 市の補助金を活用し共同で研究開発を実施、製品化後、電子機器メーカー等へ販売

プロジェクト事例②(個社支援)

廃棄物減容化装置のコスタリカへの事業展開



- ① 国際環境技術展内で会員企業とコスタリカ大使のマッチングを実施(会期後に大使館を訪問)
- ② 現地企業協力のもと機器製造を開始、中央卸売市場で実証開始後、販売予定

グリーンイノベーション推進事業における取組例③

概要 / 背景 / **取組** / 成果 / まとめ

- ESGに関する国際的なイニシアチブの策定が進む中、そうした動きに適應する企業の増加を図りながら、市内産業の競争力及び経営基盤の強化につなげることを目的に、**ESGファイナンス促進事業**を実施しています。

令和4・5年度ESGファイナンス促進事業の取組

■ ESGファイナンスモデル事業

ESGに資する新規事業に取り組む2社をモデル企業に選定し、ESGファイナンスの活用を通じて安定的な企業経営や企業価値向上につなげる伴走支援を実施

令和4・5年度モデル事業



低炭素コンクリートの製造及びそれを活用した製品の開発



太陽光パネルリユース・リサイクル事業

モデル事業の成果を通じた広報の実施



ESGファイナンスモデル事業報告会



ESGファイナンスガイドブック

■ ESG投融資研究会

金融機関を通じたESGファイナンスの普及促進を目的に、市内に立地する金融機関を対象として開催。ケーススタディや知見共有等により、金融機関の取組推進に寄与



ESG投融資研究会

(開催、参加実績)
令和4年度・2回・延べ42名
令和5年度・4回・延べ68名

これまでの実施内容の総括

取組を通じた成果

- ✓ 非財務面の可視化を進めることで、**経営の課題や方針を整理することができ企業の経営戦略の策定**に役立った。
- ✓ 金融機関においても**財務諸表だけでは知りえない企業の状況、課題の把握**ができ、**企業との関係性強化**が図られた。
- ✓ 研究会を通じて、金融機関内の意識醸成だけでなく、**金融機関同士の知見共有による横のつながりが創出**された。

取組を通じた課題

- ✓ 中小企業に、**ESG経営に取り組むメリット（顧客開拓、コストダウン等）、取り組まないデメリット（サプライチェーンから外される危機等）**を理解してもらうため、様々な角度から情報を発信する必要がある。
- ✓ ESGファイナンスを利用する**企業の人的・金銭的負担が大きく**、金利優遇などのインセンティブを感じにくい。

上下水道分野における国際展開推進事業の取組事例①

概要 / 背景 / 取組 / 成果 / まとめ

■ 第3期実施期間では、官民連携による国際展開の取組と技術協力による国際貢献の取組を連携しながら、水環境にかかる国際展開を推進しています。

● 海外展開スキームへの応募・事業実施等の取組や情報提供・情報発信を実施しました。

海外展開スキームへの応募の取組等の実施

- ・ベトナム（ダナン市）での環境省「アジア水環境改善モデル事業」：有機汚泥減容化装置導入調査
- ・ベトナム（バリア・ブントウ省）でのJICA「中小企業・SDGsビジネス支援事業」：ステンレス配水池導入調査
- ・ベトナムでのJICA「中小企業・SDGsビジネス支援事業」：下水汚泥濃縮・脱水装置導入調査

かわさき水ビジネスネットワーク会員向けのセミナー開催、WEBサイトからの情報提供・発信

- ・インドネシア（バンドン・マカッサル）セミナーの開催（令和6年2月開催、参加者：57名）
（インドネシアの各市の幹部から上下水道分野の現状と課題について講演、「草の根技術協力事業」への参画募集）



官民連携によるベトナムでの現地調査



かわさき水ビジネスネットワーク会員セミナー



かわさき水ビジネスネットワークWEBサイト

上下水道分野における国際展開推進事業の取組事例②

概要 / 背景 / **取組** / 成果 / まとめ

- 技術支援のための専門家派遣や研修生・視察者の受入を実施しました。

JICA技術協力プロジェクトへの専門家派遣

- ・ラオス国 水道事業運営管理能力向上プロジェクト（水道技術等を指導するための長期・短期専門家の派遣）
（フェーズ2：2018年5月～2023年12月、フェーズ3：2024年2月～2028年2月）

JICA草の根技術協力プロジェクトによる技術支援

- ・インドネシア国 マカッサル市における地下漏水対策実行能力向上プロジェクト（2022年11月～2025年10月）
- ・インドネシア国 バンドン市における排水水質改善に向けた能力向上プロジェクト（2023年5月～2026年4月）

研修生・視察者の受入れを実施

- ・JICAなどの関係機関や友好都市等から研修生等を受入
（視察先：長沢浄水場、入江崎水処理センター等）



JICA技術協力プロジェクトへの専門家派遣



JICA草の根技術協力事業の活動



海外からの視察受入

専門家等派遣・研修生等受入件数



成果指標①の達成状況(目標達成)

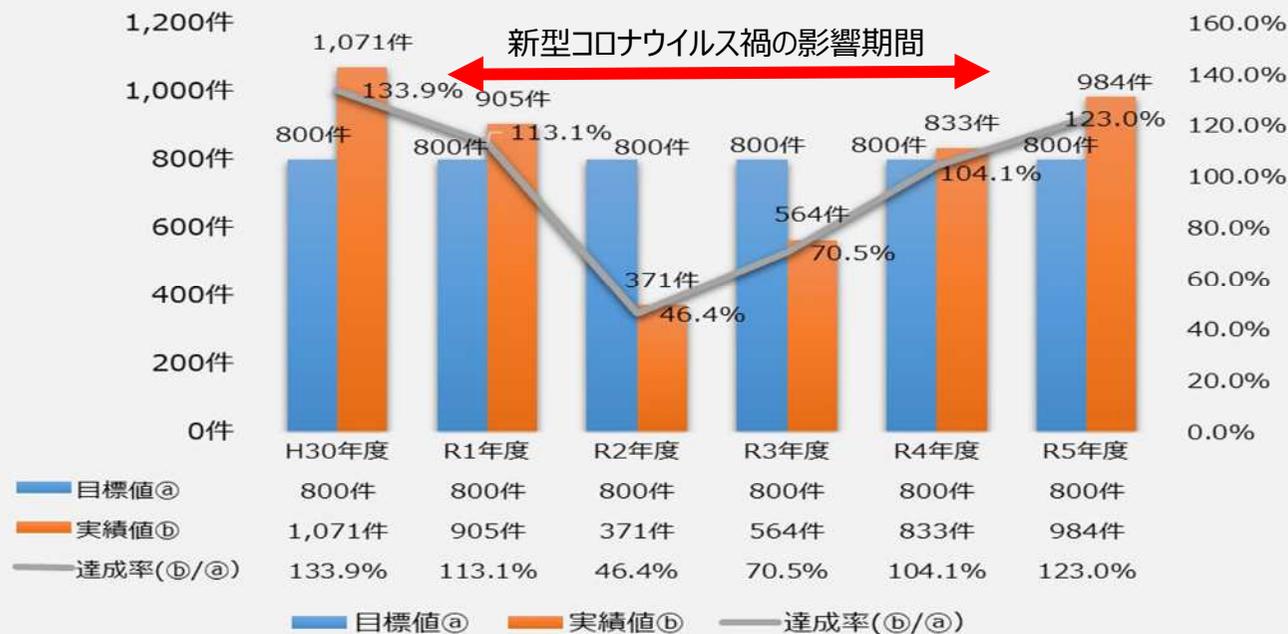
概要 / 背景 / 取組 / **成果** / まとめ

市が支援したビジネスマッチングの年間成立件数

- 市が支援したビジネスマッチングの年間成立件数については、令和5年度984件となり、目標を達成しています。増加要因として、コロナ禍からの回復、越境 E C 等促進事業による支援企業の個別マッチングによる増加が挙げられます。
- 特に、川崎国際環境技術展について、ビジネスを目的とする出展者・来場者に参加対象を明確化し、目的に沿う会場やコンテンツを提供したことがビジネスマッチング数の増加につながり、指標全体をけん引しています。

	第1期 策定時 (H26)	R4	R5
目標		800件	800件
実績	581件	833件	984件

市が支援したビジネスマッチングの年間成立件数



成果指標②の達成状況(目標達成)

グリーンイノベーションクラスターのプロジェクトの年間件数

- 協業支援、個社支援それぞれの実施と、プロジェクトの種となるビジネスマッチングの好事例に対する伴走支援を行った結果、グリーンイノベーションクラスターのプロジェクト件数については、令和5年度は**9件**となり、目標を達成しています。

	第1期 策定時 (H26)	R4	R5
目標		7件	7件
実績	2件	9件	9件

グリーンイノベーションクラスタープロジェクトの年間成立件数

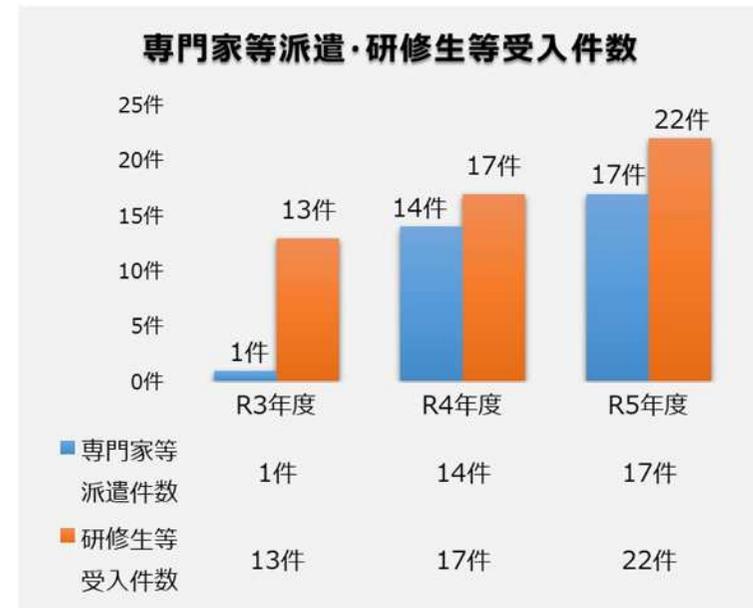


成果指標③の達成状況(目標達成)

上下水道分野の国際展開活動件数

- 上下水道分野の国際展開活動件数については、令和5年度は**109件**となりました。
- コロナ対策の緩和に伴い、専門家等の派遣や研修生等の受入が増加し、目標を達成することができました。

	第3期 策定時 (R2)	R4	R5
目標		100件 以上	100件 以上
実績	92件	111件	109件



その他成果(定性的な成果)

- 「海外展開支援事業」では、相談の窓口である「川崎市海外ビジネス支援センター(略称: KOBS<コブス>)」における専門のコーディネーターによる海外展開に関するオンラインや対面での相談対応等により、海外展開を希望する市内企業の活動を支援しました(相談等支援件数 R4:492件、R5:436件)。また、越境ECを活用したテストマーケティング等の支援(参加企業43社)を実施し、市内企業の海外展開を促進しました。
- 「グリーンイノベーション推進事業」では、川崎国際環境技術展について令和4年度から対面での開催を再開し、令和5年度も引き続き対面で開催しました。令和5年度の開催にあたっては、経済産業省関東経済産業局長から2050年カーボンニュートラルに向けた国の動向を、大企業からESG・SDGsに関するサプライチェーンを含めた最新の取組等をそれぞれご紹介いただきました。また、ESG投融資の活用意欲の高い企業の割合を高めるため、モデル事業の創出や、投融資研究会の開催を行いました。事業開始後間もなく、市内中小企業全体への周知が進んでいなかったこともあり、令和4年度は目標値10%に対して実績値5.6%、令和5年度は目標値15%に対し実績値3.6%と、目標達成には至りませんでした。今後は、これまでの2カ年の取組を総括し、引き続き効果的な手法を検討しながら、粘り強くESGファイナンスの普及促進を実施していきます。事業全体として、脱炭素社会の実現に向けて市内企業の意識醸成に一定寄与しました。
- 「上下水道分野の国際展開推進事業」では、かわさき水ビジネスネットワークを通じた水関連企業の海外展開支援及びJICAを通じた専門家派遣等の国際展開活動を実施し、市内企業の国際競争力の強化や川崎市のプレゼンスの向上が図られました。

施策の進捗状況

施策の進捗状況

A 順調に推移している(目標を達成している)

理由

- 「**海外展開支援事業**」では、第3期実施計画から展示会・商談機会での支援等の目標支援企業数を40社(第2期20社から倍増)としてさらなる海外展開に取り組む企業の拡大を図りました。**国内にしながら世界の需要を取り込むことのできる、越境ECの活用等オンラインの活用を促進する支援や商社等との商談会等を実施することで、令和5年度に支援企業数が69社となり目標を上回り達成しました。**
- 「**グリーンイノベーション推進事業**」においては、令和5年度から川崎国際環境技術展をビジネスコンテンツに重点をおいた開催内容にシフトすることで、**昨年度を上回る出展者、来場者、ビジネスマッチング数を達成することができました。**また、**グリーンイノベーションクラスターの運営においても、国の補助制度等を活用しながら、クラスター会員企業のネットワークの拡大や環境分野への事業展開支援を行うことで目標とするプロジェクト創出件数を達成しました。**
- 「**上下水道分野における国際展開推進事業**」においては、かわさき水ビジネスネットワークを通じた**市内企業等の海外展開支援及びJICA等を通じた専門家派遣や海外からの研修生・視察者の受入れ**について、順調に推移し**目標を達成することができました。**

【施策の進捗状況区分】

A 順調に推移している(目標を達成してる)、B 一定の進捗がある(目標達成に向けて進捗している)

C 進捗が遅れている(目標達成が遅れる可能性がある)、D 進捗は大幅に遅れている(目標達成が難しい可能性がある)

施策の今後の方向性

概要 / 背景 / 取組 / 成果 / まとめ

今後の方向性

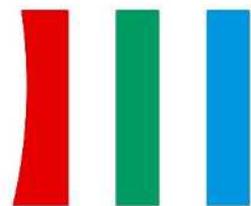
Ⅱ 概ね効果的な構成である(一部見直し等の余地がある)

理由

- 「海外展開支援事業」においては、海外販路の開拓等、海外展開に向けた機会の創出や情報の提供に向け、「川崎市海外ビジネス支援センター(KOBS)」において、市内企業の海外展開に係るステージに合わせた専門コーディネーターによる伴走支援を行うとともに、関係機関等と連携を図りながら総合的な支援を行います。また、縮小する国内市場に直面する市内企業が、国内にいながら世界の需要を取り込むことのできる越境EC活用による支援や海外に販路を持つバイヤー等と市内企業のマッチングを図る等、世界情勢等を見極め、経済安全保障等も考慮した上で、企業間取引への拡大も視野に入れ、有効な海外展開の手法を選択しながら支援を進めます。
- 「グリーンイノベーション推進事業」においては、脱炭素社会の実現と持続可能な経済成長の両立を目指し、引き続きビジネスを重視した川崎国際環境技術展を開催していきます。開催にあたっては、庁内関係部署や支援機関等と一層連携を強化し、企画内容の充実や広報の強化等に努めていきます。また、グリーンイノベーションクラスターの運営では、脱炭素に資する製品の開発等、環境分野における新技術・新製品等の創出を目指し、川崎国際環境技術展等の場で創出されたプロジェクトの芽の事業化に向けて伴走支援を実施し、中小企業をはじめとする市内企業の脱炭素化の取組拡大や、環境産業への参入を促進していきます。また、ESGファイナンスの促進では、補助制度の創設や市内中小企業を対象としたセミナーを開催するなど、新たな取組を実施しながら、情報の発信を行っていきます。
- 「上下水道分野における国際展開推進事業」においては、市内企業の国際競争力の強化や川崎市のプレゼンスの向上が図られていることから引き続き事業を推進していきます。

【今後の方向性区分】

- I 効果的な事業構成である(現状のまま継続する)、Ⅱ 概ね効果的な構成である(一部見直し等の余地がある)
Ⅲ あまり効果的な事業構成でない(見直し等の余地が大きい)、Ⅳ 事業構成に問題がある(抜本的な見直し等が必要である)



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市